

**札幌市中高一貫教育校設置  
基本構想**

**平成23年（2011年）3月**

**札幌市教育委員会**



## はじめに

札幌市における中高一貫教育の検討については、市立高校改革の一貫として検討をはじめました。平成12年に設置した「札幌市立高等学校教育改革推進協議会」からの答申に基づいて、平成15年2月に策定した「札幌市立高等学校教育改革推進計画」において、単位制や特色ある専門学科・コースの導入、新しいタイプの定時制高校の開校などの特色ある制度の導入と並んで、中高一貫教育の検討についても位置付けました。また、平成16年9月には、主に義務教育段階における札幌市の教育改革の方向性と施策を示す「札幌市教育推進計画」を策定し、この中で、「中高一貫教育校の設置に向けて検討を進める」ことを示しました。その後、保護者等へのアンケート実施や「札幌市中高一貫教育検討協議会」での協議及び同協議会からの答申に基づいた検討など、中高一貫教育校の設置については、時間をかけて議論を深めてきたところです。

以上の検討経過を踏まえた上で、札幌市が設置する中高一貫教育校には、市立高校の特色ある教育内容と中高一貫教育の特徴を融合させることで、「学びの場の更なる充実」を図るとともに、中学校と高校の教員が一体となって学校運営や学習指導等を行い、中学校と高校を含めた3者が、様々な成果を共有し、互いに高めあう取組を推進することで、校種を越えた学校間連携の一層の促進を図ろうとするなどのねらいがあります。

加えて、現在、市立学校全体で「自立した札幌人の育成」を目指し、札幌らしい特色ある学校教育を進めており、中高一貫教育校の、6年間の計画的・継続的な教育を展開できるという特徴を生かして、体験を重視した課題探究型の学習や札幌を教材とした学習を行うことなどで、札幌らしい特色ある学校教育を更に推進していくことが可能であると考えています。

中等教育の対象となる13歳から18歳の時期は、肉体的にも精神的にも変化の著しい期間であり、大人となる基礎を培う重要な時期です。この時期を一貫して見守り育てる公立の中高一貫教育校を選択肢の1つとして市民の方々に提供することは、中等教育の多様化を推進し、生徒一人ひとりの個性をより重視した教育の観点から、重要な意義があると考えています。

今後、本基本構想に基づき、魅力ある学校づくりを進めて参りますので、今後ともご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

平成23年3月

札幌市教育委員会

# 札幌市中高一貫教育校設置 基本構想 <目次>

## I 中高一貫教育校の設置について

- 1 中高一貫教育の制度 ..... P 1
- 2 札幌市における検討経過 ..... P 2
- 3 札幌市における中高一貫教育校設置について ..... P 3

## II 育てたい生徒像と改編対象校について

- 1 育てたい生徒像 ..... P 5
- 2 育てたい力とはぐくみたい心 ..... P 6
- 3 改編対象校選定の考え方 ..... P 7

## III 中高一貫教育校の教育内容等

- 1 中高一貫教育の特徴を生かした教育内容 ..... P 9
- 2 発達段階に応じた指導区分の設定及び単位制の導入 ..... P 1 5
- 3 他の中学校・高校との教育成果の共有 ..... P 1 6
- 4 魅力ある学校づくりに向けた取組 ..... P 1 7

## IV 中高一貫教育校設置の枠組

- 1 設置形態 ..... P 1 8
- 2 学校規模 ..... P 1 8
- 3 通学区域 ..... P 1 8
- 4 開校時期 ..... P 1 9
- 5 入学者の決定方法 ..... P 1 9
- 6 中高一貫教育校設置に伴う移行期間 ..... P 1 9

## V 中高一貫教育校の施設整備の考え方

- 1 施設整備の基本的な考え方 ..... P 2 1
- 2 開校までの施設整備のスケジュール（予定） ..... P 2 1

## VI 課題・留意点への対応等

- 1 課題・留意点への対応 ..... P 2 2
- 2 今後の進め方 ..... P 2 4
- 3 評価と検証 ..... P 2 4

資料編 ..... P 2 6

概要版 ..... P 3 8